

# 大安寺報

おかえりなさい。

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職：長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地

Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426

E-mail info@daianji.jp

## 秋彼岸に寄せて

暑さ寒さも彼岸までくと申しますが、まさに、秋彼岸の頃は暑くもなく、また寒くもなく、大変過ごしやすい気候となります。また、「彼岸」の由来となったという説もある、「日願」(真西に沈む太陽を見、自然に感謝し五穀豊穡を願った日本古来の太陽信仰)の儀式を行ったとされる秋分の日、昼と夜の時間が全く同じになる日。このように、彼岸は、「寒暑」「昼夜」の丁度中間に位置する時期です。

「好き・嫌い」「善い・悪い」「快・不快」。私たちはともすると「二項対立」の感情にとらわれます。しかし、そのような決めつけは、物事の本質を見えづらくし、人間関係を悪化させ、争いを増幅させるもの。震災発生以来、原発問題、与野党の対立など、様々な「二項対立」の構造が生まれ、それは収束の気配を見せていません。

その対立を解消するカギが、仏さまの教えにあります。仏教をお開きになったお釈迦さまは、快樂の中にあつた王子の位を捨て、出家した後、約六年間にわたる厳しい苦行をされました。しかし、このままではいくら苦行しても悟りは開けないと断食も止め、菩提樹下で約

一週間坐禅を組んで悟りを開かれました。また、人の死後や、行為とその果報を否定する「断見」と、この世は永遠不滅であるという「常見」のいずれにも囚われず、偏らない見方をされました。その修行の在り方と物事の見方を「中道」といいます。その「中道」の在り方こそ、事態の打開につながる「智慧」を生むのです。

曹洞宗が重んじる「坐禅」は、「二項対立」のとらわれを離れ、「中道」を歩む仏行。また、皆さんのご自宅のお仏壇でのお勤めや、このお彼岸のお墓参り、お写経なども、「姿勢」と「呼吸」を調べ、心を調えるという点で坐禅につながる仏行です。

当寺には、お釈迦さまをはじめ、観音さま、お地藏さまなど、温かな眼差しで私たちとともに歩んでくださる仏さまがいらつしやいます。このお彼岸、当寺で仏さまたちとともに、ご自分の「智慧」の種を養いませんか？



雨の日も風の日も、お寺にお出でになる方々を見守ってくださっている、石段下のお地藏さま。

## 仏事

## Q & A

第八回

Q. 葬儀の大まかな流れは？

A.

- 一、葬儀社へ連絡・打ち合わせ
- 二、市役所へ死亡届を提出し、火葬許可証を交付してもらう。
- 三、菩提寺へ連絡(電話・訪問)
- 四、ご自宅等にて枕経

※通夜・葬儀の日程、戒名等についての打ち合わせ

五、納棺

※葬儀社立ち合い

六、火葬・収骨

※葬儀社立ち合い。火葬前に読経

七、通夜・通夜説教

※故人の剃髪・授戒儀式後、会葬者焼香

八、葬儀

※法要の詳細は、次号にて詳しくお伝えいたします。

①葬儀

②納骨

③取り越し法要(初七日・百か日)

④会食

九、満中陰法要

※三十五日もしくは四十九日。

※この法要に合わせて、塗りの本位牌をご用意ください。

※以上の流れは、地域によって異なる場合があります。菩提寺へお問い合わせください。

※埋葬許可証は、当寺もしくは共同墓地管理者にご提出ください。

■大安寺ホームページ

<http://www.daianji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daianji.jp>



携帯サイト QR コード

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師  
 ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)